



貴重書

徳様比翼哉

特
196

国
24
98

五百七十一

ア306531

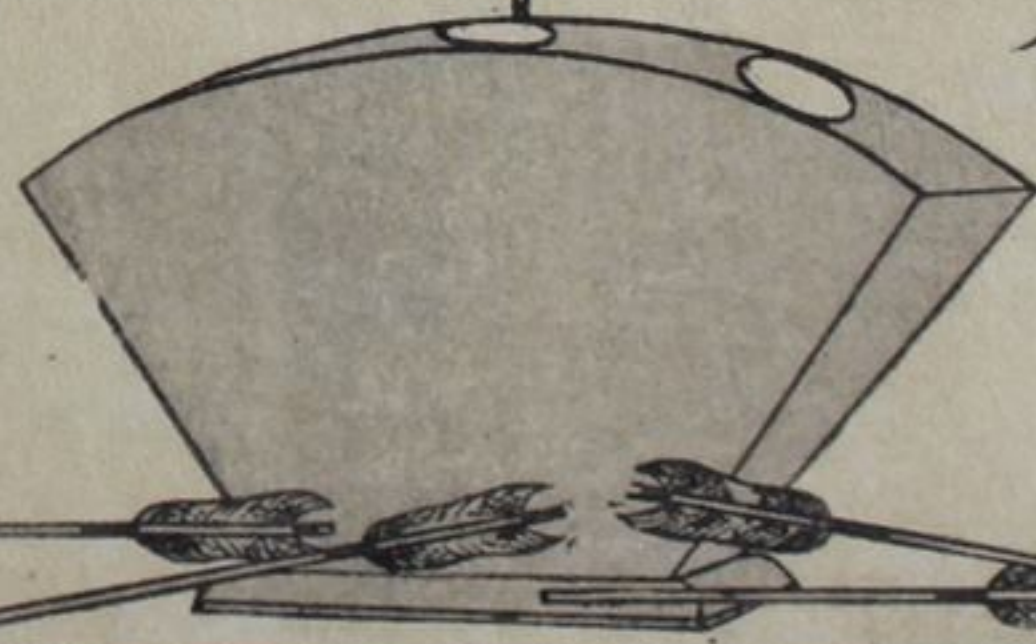
比翼の模様の比翼の模様の比翼の模様

比翼の模様



天保九 上の巻 戌新板

甘泉堂梓



趣向も古着の比翼塚その引書説とてり出てるふふをそふ縫の仮字
ちひと筆の族やの張あげさて是くら校合の上繪るふとてふ
あてかた川のまづ館場の固辞つけ印南が詞の花れ香やかか八重
梅が後咲の氣とりの弓の矢場娘をまの姿ハ難波津ふさくやの
雨ふ開くるの勝色みま平井が射術ア似やあありの俠客
義理と恩ととたちりけ衣かてまがりの絹賣があてうもふづあ
入相鐘音ら良玄衛が名ふひく鶉も化して鶯鳴の忠おのとづ
一念善心弥市支婦が物語の古木ふ竹を継發行六冊續の二
反掛と商口と言とまうり利

天保九戊戌年孟陽

春廼屋梅磨





絹賣
矢市

後
寺石
加古川の家
中
洗川轉物
心



矢市女房
於時

悪棍
は平の
微









国文
別図書
5年度

文
L
3